



MMCの第1回まち歩きは、天候にも恵まれてそのスタートに相応しく以前ビアパーティーを実施した有楽町の明治大学の発祥の地からスタートとなりました。

戦後の歴史を語るには、この場所しかない有楽町から丸の内、神田駿河台まで約3時間半かけてガイド役の小林一郎様の説明をゆっくり聞きながら歩きました。



充実の14名出席

戦後の歴史を知って人生を知った時

あの南町奉行所があったのは、何と今のJR有楽町駅の目の前だったことをご存知だったでしょうか？おそらく会員の皆様も歩いた事があるすぐ駅前広場が南町奉行所でした。そして有楽町駅前から更に歩を進めるとJR線のガード下に横丁もあり、新旧の街並みにも驚きました。この場所は、昔東京都庁もあった側でした。また、戦後日本である意味重要な会議が行われた会議室や建物とその周辺の歴史も見学できました。



現在の有楽町から東京駅の皇居側のエリアは、所謂『100尺建物』が建設されていましたが、昨今の再開発で、100尺を大きく超える商業施設を併設した建物への変貌振りには、以前このエリアに仕事で来た皆様には信じられないような正に、観光地？になっていました。また、この丸の内エリアは、実は、以前『八重洲』と言われていた証拠のモニュメントも普段歩いている建物の横にあって歴史の深さを知りました。建物基礎の松ノ木が展示されている場所もあって、建築学？的にも勉強になりました。

まち歩きのお疲れ様会も兼ねた恒例の第9回サロンでは、サロンだけに出席してきたメンバーも加わり、65歳になっても依然として明大OB人脈ネットワークの勤務先で仕事をされている経緯等もゆっくりお聞きする事ができて改めて、やはり明大繋がり力の強さ、奥深さを感じた時でもありました。

サロンの途中では、数年前にMMCのアナウンサー講座を受講したOBが、めでたく地方の地上波の局アナに内定したと言うメールも事務局に入りその場を盛り上げることにもなりました。土曜日開催だから初めて出席したという若手も最後の最後に出席してきて先輩会員と交流を深めていました。



次回は、2013年春頃開催予定